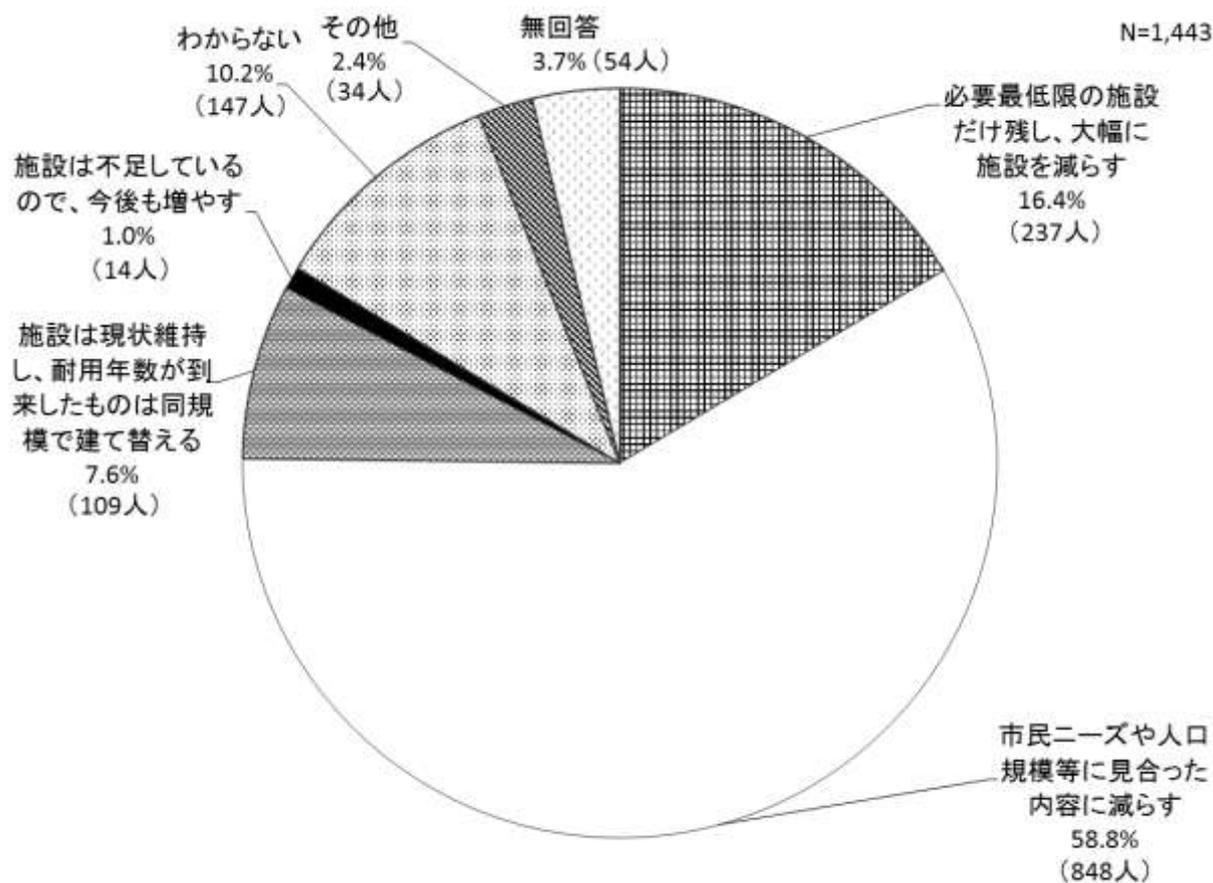


各項目の集計結果

(9) 公共施設の老朽化や建替・改修費用の見込みを踏まえると、今後の公共施設の整備についてはどのように進めていくべきだと考えますか。

①全体集計

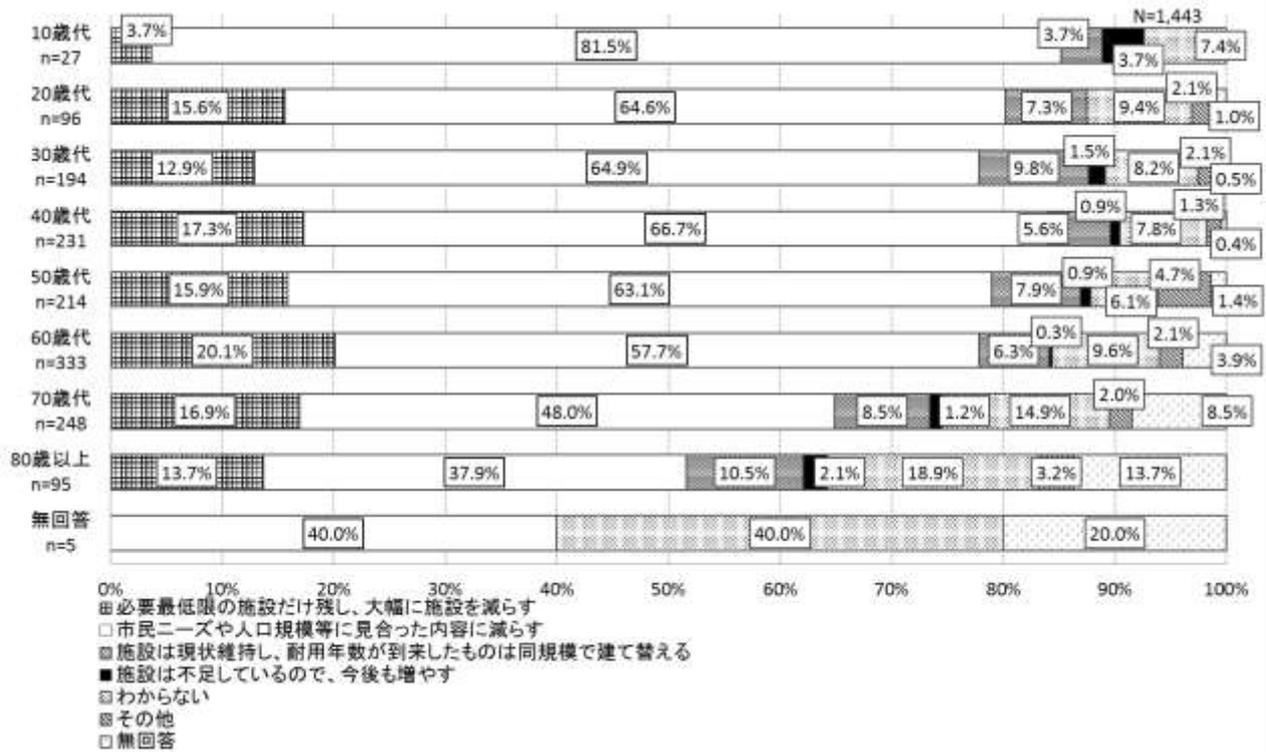
「市民ニーズや人口規模に見合った内容に減らす」が最も多く58.8%であり、次いで「必要最低限の施設だけ残し、大幅に施設を減らす」で16.4%であった。



各項目の集計結果

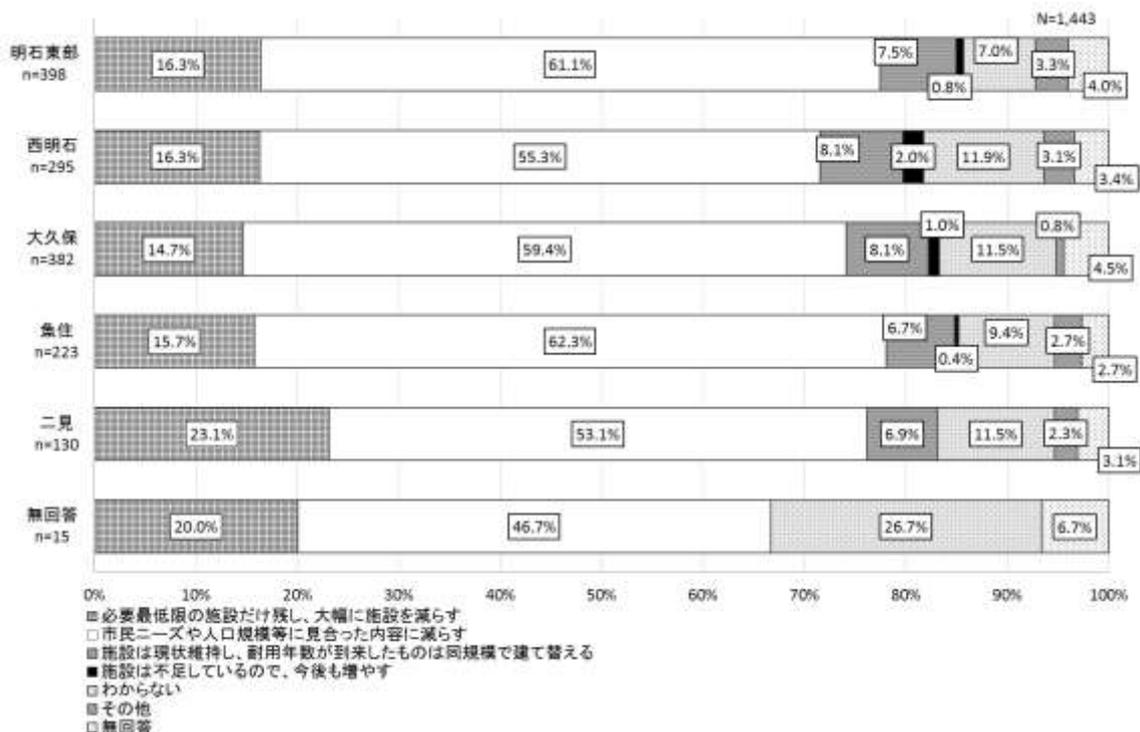
②年代別集計

10歳代から60歳代までの年代で「市民ニーズや人口規模に見合った内容に減らす」と「必要最低限の施設だけ残し、大幅に施設を減らす」の合計が7割を超えたが、70歳代・80歳以上では、それぞれ64.9%、51.6%であった。また、70歳代・80歳以上では、他の年代と比較して「わからない」が高かった。



③地区別集計

「市民ニーズや人口規模等に見合った内容に減らす」が魚住で最も高く62.3%であった。

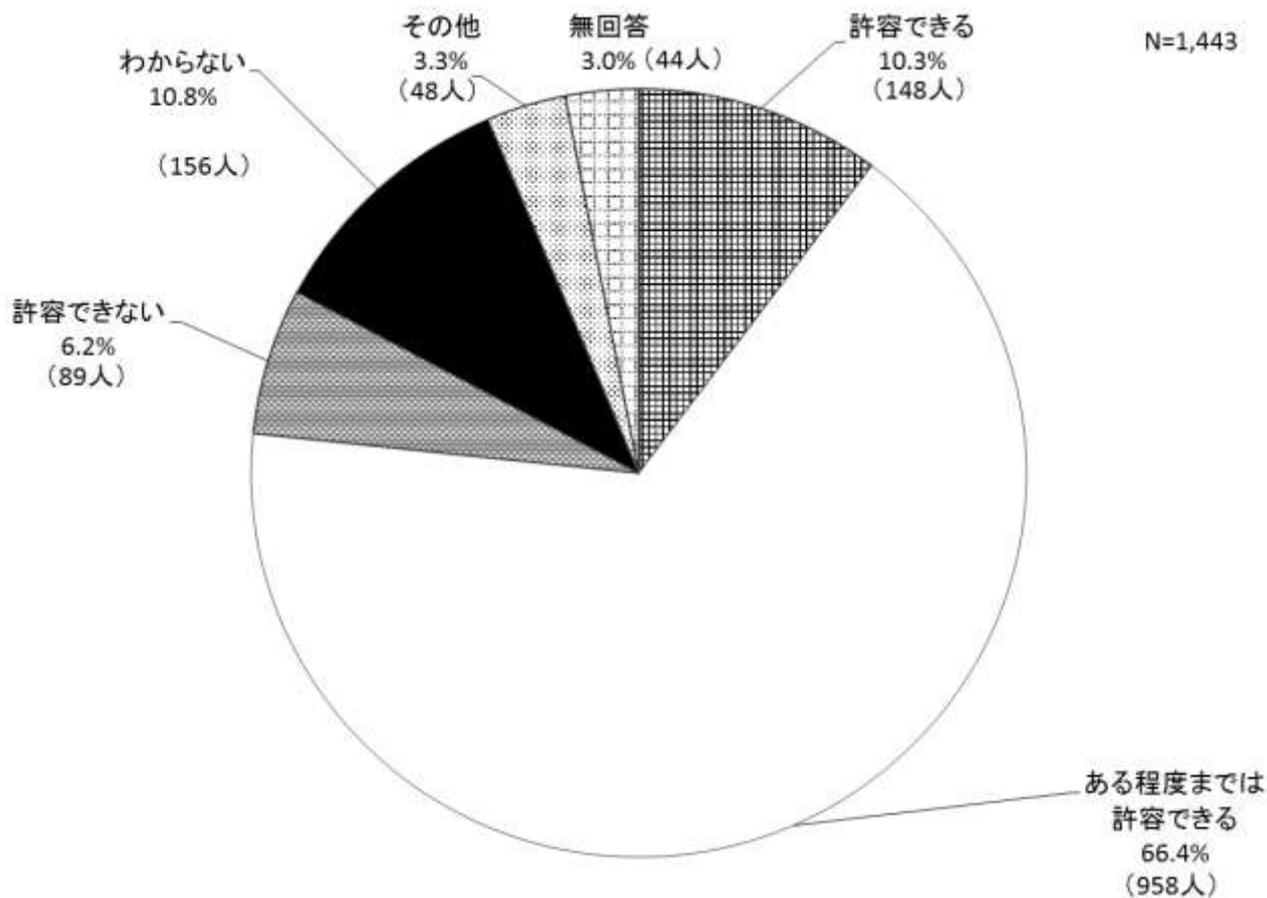


各項目の集計結果

(10) 公共施設配置の適正化の取り組みを進めていくと、公共施設の統廃合等により、距離が遠くなるなど利便性が低下することも予想されますが、あなたはどのように考えますか。

①全体集計

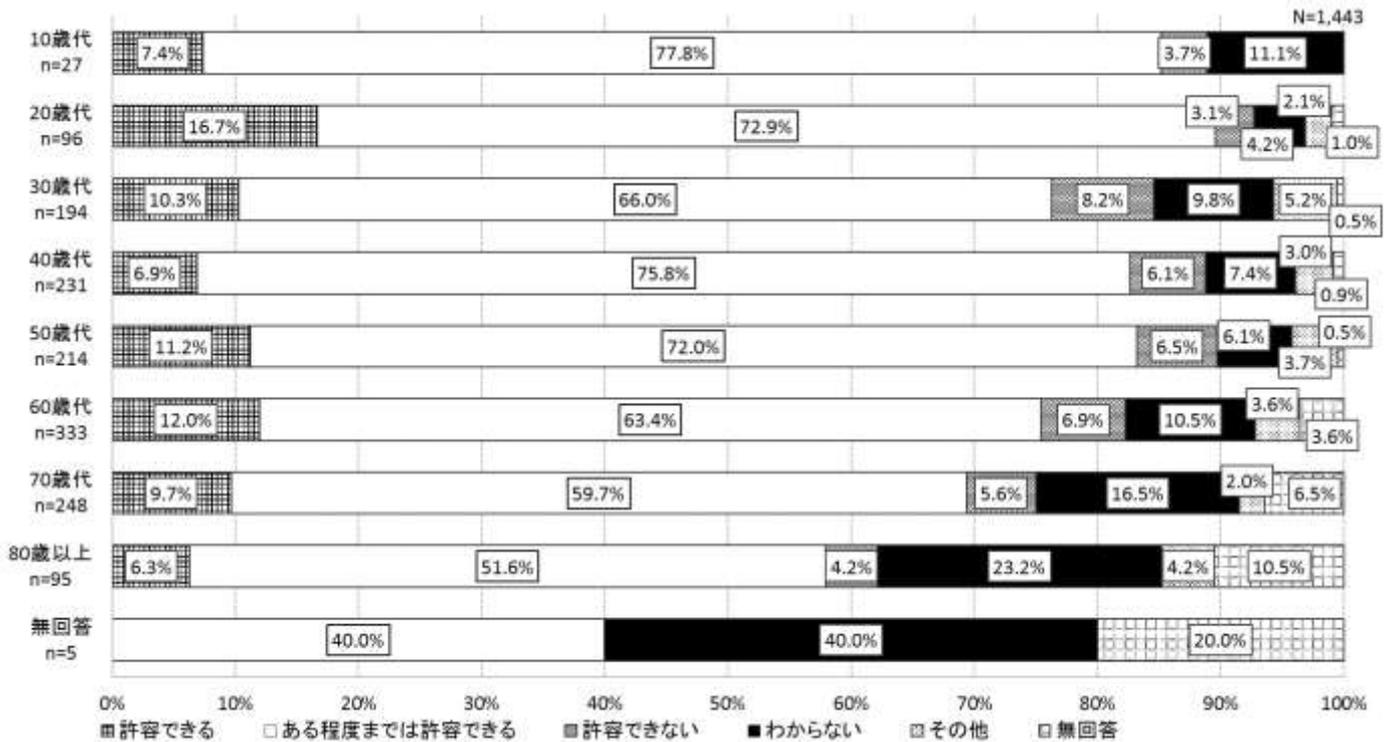
「ある程度まで許容できる」が最も多く66.4%であり、次いで「わからない」が10.8%であった。



各項目の集計結果

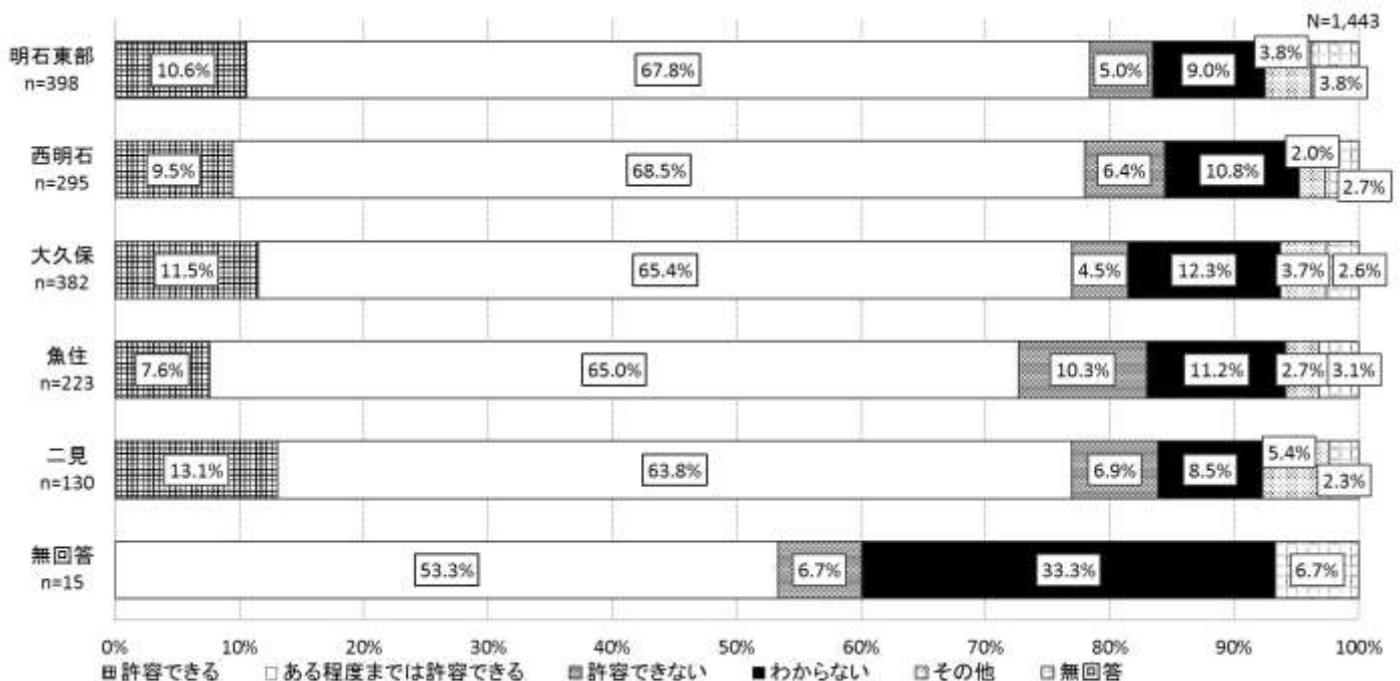
②年齢別集計

30歳代及び60歳代から80歳以上の年代が「許容できる」と「ある程度までは許容できる」の合計が他の年代と比較して、低かった。また、70歳代と80歳以上の年代で「わからない」が他の年代と比較し高かった。



③地区別集計

「ある程度までは許容できる」は西明石でその割合が最も高く68.5%であり、「許容できない」は魚住で最も高く10.3%であった。

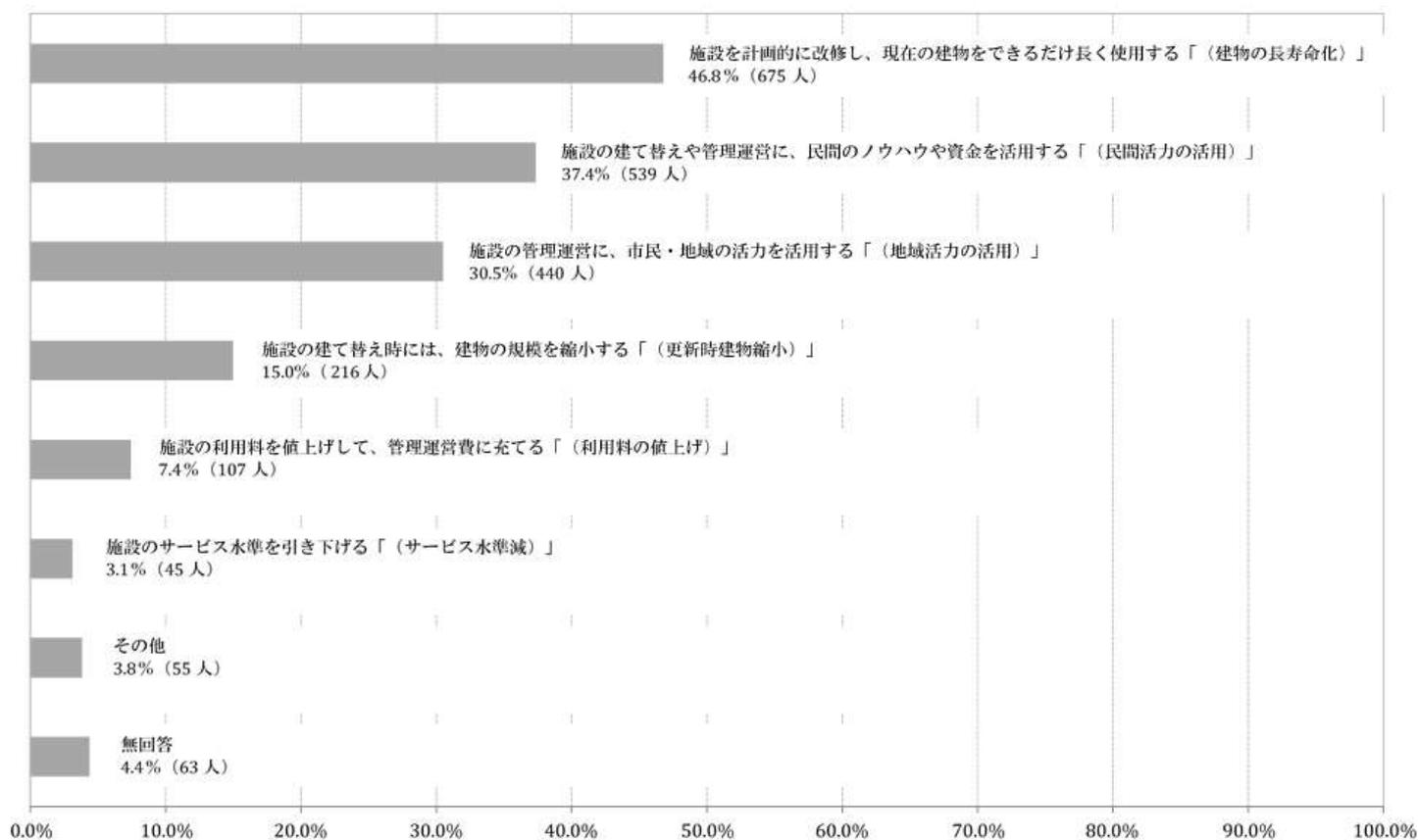


各項目の集計結果

(11) 公共施設にかかる建替・改修費用や管理運営費の一層の削減に向けて、あなたはどのように取り組むべきだと考えますか。(複数回答可)

①全体集計

「施設を計画的に改修し、現在の建物をできるだけ長く使用する」が最も多く46.8%、次いで「施設の建て替えや管理運営に、民間のノウハウや資金を活用する」が37.4%、「施設の管理運営に、市民・地域の活力を活用する」が30.5%であった。



※割合は、項目ごとの回答者数÷総回答者数(N=1,443)で表しており、複数回答のため合計は100%にならない。

各項目の集計結果

②年齢別集計

50歳代を除き、全ての年代で「施設を計画的に改修し、現在の建物をできるだけ長く使用する」が最も多かった。50歳代では「施設の建て替えや管理運営に、民間のノウハウや資金を活用する」が最も多かった。

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
10歳代 (n=27)	建物の長寿命化 (66.7%)	民間活力の活用 (29.6%)	地域活力の活用 (29.6%)	更新時建物縮小 (7.4%)	利用料の値上げ (7.4%)	サービス水準減 (3.7%)	その他 (0.0%)
20歳代 (n=96)	建物の長寿命化 (59.4%)	民間活力の活用 (35.4%)	地域活力の活用 (19.8%)	更新時建物縮小 (9.4%)	利用料の値上げ (5.2%)	サービス水準減 (4.2%)	その他 (3.1%)
30歳代 (n=194)	建物の長寿命化 (53.6%)	民間活力の活用 (39.2%)	地域活力の活用 (26.3%)	更新時建物縮小 (20.6%)	利用料の値上げ (4.1%)	その他 (4.1%)	サービス水準減 (3.1%)
40歳代 (n=231)	建物の長寿命化 (43.7%)	民間活力の活用 (42.0%)	地域活力の活用 (31.2%)	更新時建物縮小 (15.6%)	利用料の値上げ (4.8%)	サービス水準減 (3.9%)	その他 (3.9%)
50歳代 (n=214)	民間活力の活用 (46.7%)	建物の長寿命化 (43.9%)	地域活力の活用 (29.9%)	更新時建物縮小 (17.3%)	利用料の値上げ (6.5%)	その他 (5.6%)	サービス水準減 (2.3%)
60歳代 (n=333)	建物の長寿命化 (47.7%)	民間活力の活用 (37.8%)	地域活力の活用 (34.8%)	更新時建物縮小 (13.5%)	利用料の値上げ (9.9%)	サービス水準減 (3.3%)	その他 (1.8%)
70歳代 (n=248)	建物の長寿命化 (39.5%)	地域活力の活用 (35.9%)	民間活力の活用 (29.4%)	更新時建物縮小 (14.1%)	利用料の値上げ (9.3%)	その他 (4.4%)	サービス水準減 (2.4%)
80歳以上 (n=95)	建物の長寿命化 (44.2%)	民間活力の活用 (25.3%)	地域活力の活用 (22.1%)	更新時建物縮小 (12.6%)	利用料の値上げ (11.6%)	その他 (5.3%)	サービス水準減 (3.2%)

③地区別集計

5位までは全ての地区で順位が同じであった。6位・7位については、各地区で順位が入れ替わっていたが、6位と7位の間には大きな差異はなかった。

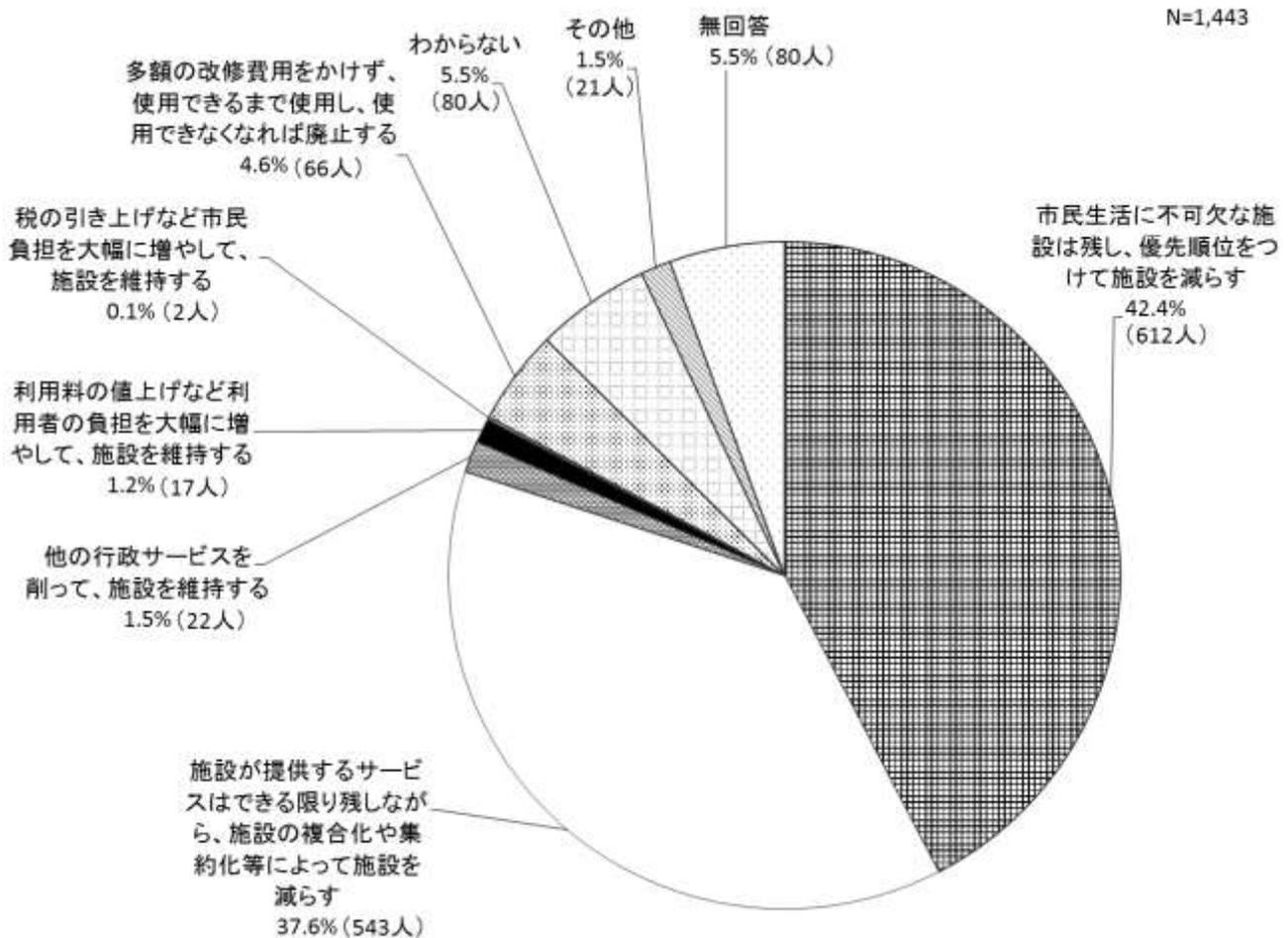
	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
明石東部 (n=398)	建物の長寿命化 (46.2%)	民間活力の活用 (41.7%)	地域活力の活用 (33.4%)	更新時建物縮小 (13.6%)	利用料の値上げ (6.8%)	その他 (4.0%)	サービス水準減 (2.8%)
西明石 (n=295)	建物の長寿命化 (43.7%)	民間活力の活用 (34.6%)	地域活力の活用 (32.2%)	更新時建物縮小 (18.0%)	利用料の値上げ (9.2%)	サービス水準減 (3.4%)	その他 (3.4%)
大久保 (n=382)	建物の長寿命化 (45.5%)	民間活力の活用 (37.7%)	地域活力の活用 (29.1%)	更新時建物縮小 (14.4%)	利用料の値上げ (8.4%)	その他 (5.0%)	サービス水準減 (2.9%)
魚住 (n=223)	建物の長寿命化 (50.2%)	民間活力の活用 (33.2%)	地域活力の活用 (26.9%)	更新時建物縮小 (16.1%)	利用料の値上げ (5.4%)	サービス水準減 (3.1%)	その他 (2.7%)
二見 (n=130)	建物の長寿命化 (53.8%)	民間活力の活用 (36.2%)	地域活力の活用 (30.0%)	更新時建物縮小 (13.8%)	利用料の値上げ (6.9%)	サービス水準減 (3.8%)	その他 (2.3%)

各項目の集計結果

(12) 建替・改修費用の見込み等から、今ある公共施設をすべて維持することは困難であると考えられますが、あなたはどのように取り組むべきだと考えますか。

①全体集計

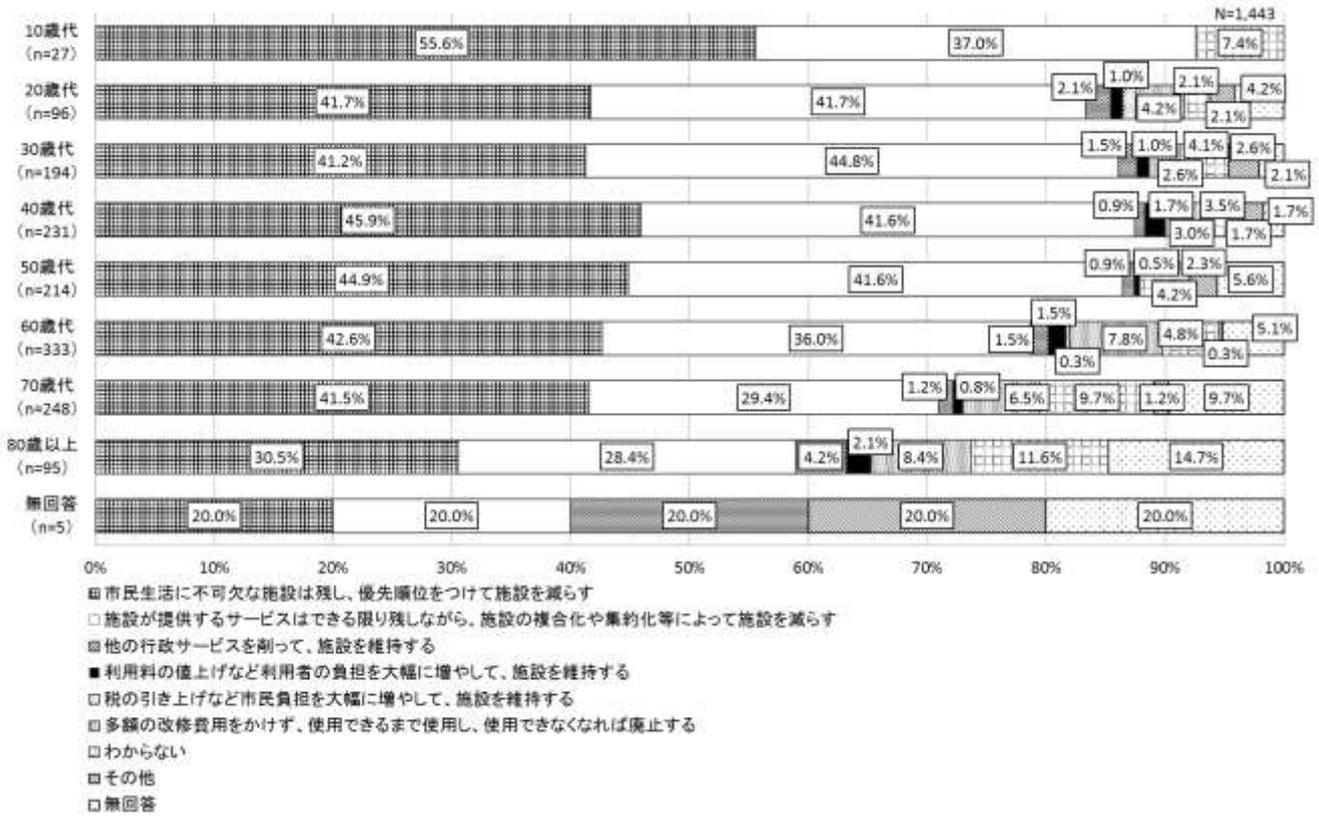
「市民生活に不可欠な施設は残し、優先順位をつけて施設を減らす」が最も多く42.4%であり、次いで「施設が提供するサービスはできる限り残しながら、施設の複合化や集約化等によって施設を減らす」で37.6%であった。



各項目の集計結果

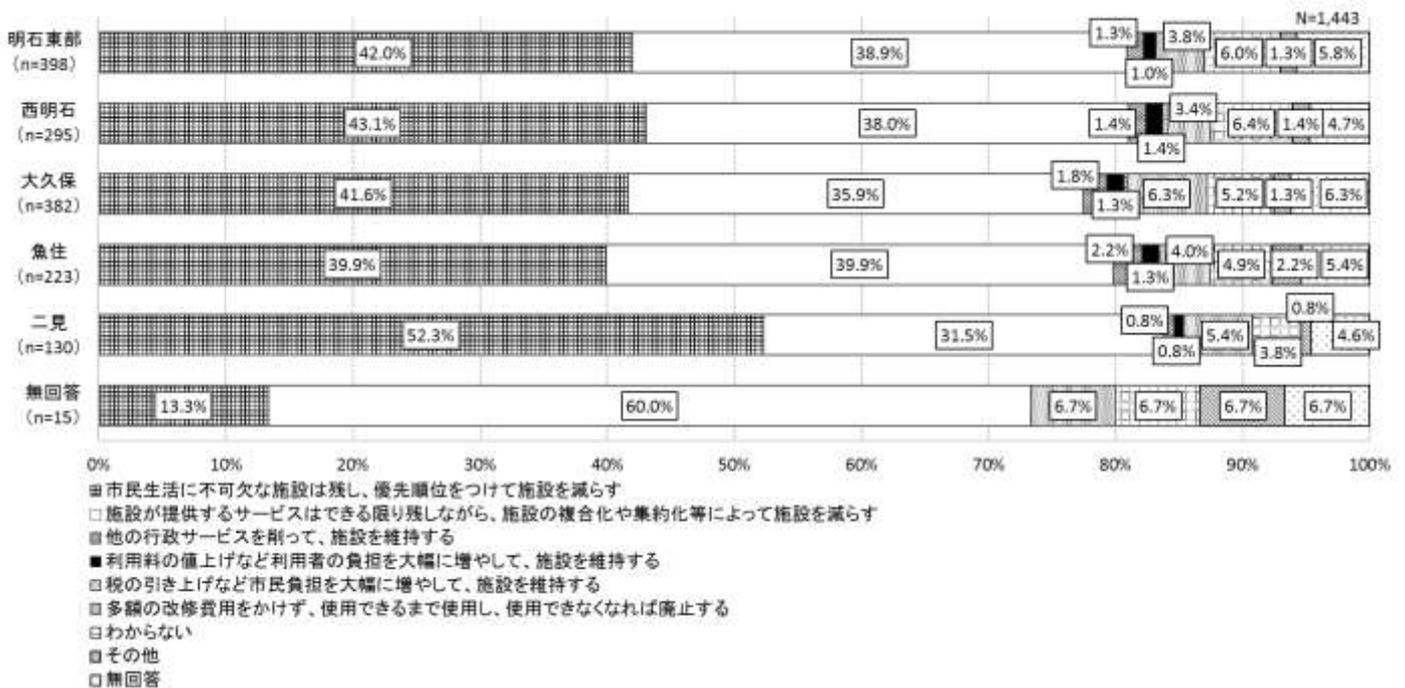
②年齢別集計

10歳代から60歳代までの年代で「市民生活に不可欠な施設は残し、優先順位をつけて施設を減らす」と「施設が提供するサービスはできる限り残しながら、施設の複合化や集約化等によって施設を減らす」の合計が約8割であった。



③地区別集計

「市民生活に不可欠な施設は残し、優先順位をつけて施設を減らす」は二見でその割合が最も高く52.3%であった。

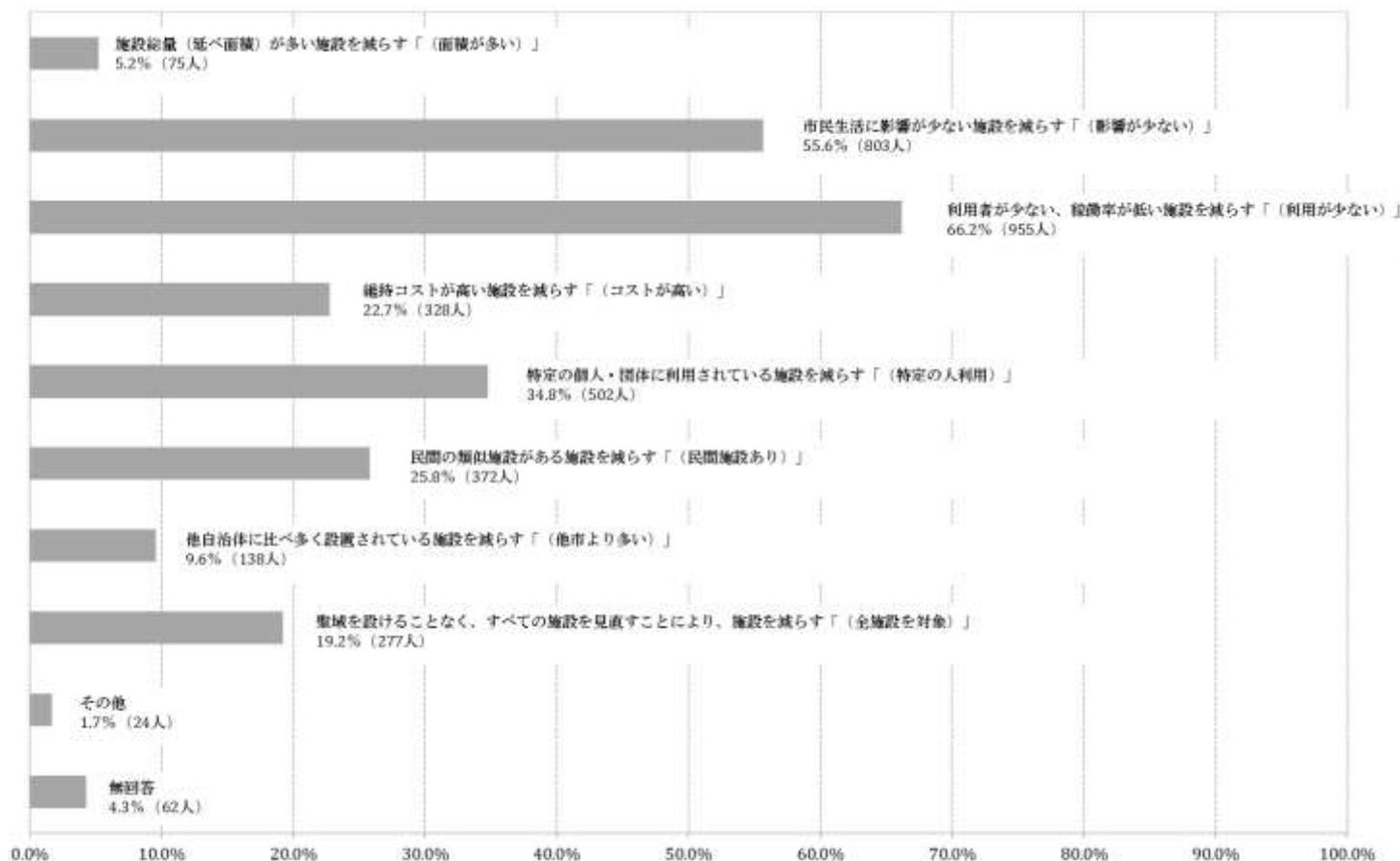


各項目の集計結果

(13) 公共施設を減らしていかなければならないとすれば、どのような公共施設を減らすべきだと考えますか。 (複数回答可)

①全体集計

「利用者が少ない、稼働率が低い施設を減らす」が最も多く66.2%であり、次いで「市民生活に影響が少ない施設を減らす」が55.6%であった。



※割合は、項目ごとの回答者数÷総回答者数（N=1,443）で表しており、複数回答のため合計は100%にならない。

各項目の集計結果

②年齢別集計

10歳代を除き、全て「利用者が少ない、稼働率が低い施設を減らす」が最も多かった。7位・8位・9位はどの年代も同様の順位となった。

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位
10歳代 (n=27)	影響が少ない (55.6%)	利用が少ない (51.9%)	特定の人利用 (25.9%)	コストが高い (22.2%)	民間施設あり (18.5%)	全施設を対象 (11.1%)	他市より多い (7.4%)	面積が多い (3.7%)	その他 (0.0%)
20歳代 (n=96)	利用が少ない (75.0%)	影響が少ない (46.9%)	民間施設あり (28.1%)	特定の人利用 (27.1%)	コストが高い (18.8%)	全施設を対象 (14.6%)	他市より多い (10.4%)	面積が多い (3.1%)	その他 (2.1%)
30歳代 (n=194)	利用が少ない (74.2%)	影響が少ない (53.1%)	特定の人利用 (29.9%)	民間施設あり (23.7%)	コストが高い (20.6%)	全施設を対象 (19.1%)	他市より多い (8.2%)	面積が多い (4.1%)	その他 (2.1%)
40歳代 (n=231)	利用が少ない (68.4%)	影響が少ない (58.9%)	特定の人利用 (37.2%)	民間施設あり (32.5%)	コストが高い (23.8%)	全施設を対象 (16.0%)	他市より多い (8.7%)	面積が多い (3.0%)	その他 (0.4%)
50歳代 (n=214)	利用が少ない (64.5%)	影響が少ない (60.7%)	特定の人利用 (37.4%)	民間施設あり (28.5%)	全施設を対象 (23.8%)	コストが高い (21.0%)	他市より多い (10.7%)	面積が多い (5.1%)	その他 (2.8%)
60歳代 (n=333)	利用が少ない (64.9%)	影響が少ない (60.1%)	特定の人利用 (38.4%)	民間施設あり (25.8%)	コストが高い (24.0%)	全施設を対象 (18.6%)	他市より多い (7.5%)	面積が多い (7.2%)	その他 (0.9%)
70歳代 (n=248)	利用が少ない (64.5%)	影響が少ない (51.6%)	特定の人利用 (34.3%)	コストが高い (23.4%)	全施設を対象 (21.8%)	民間施設あり (19.8%)	他市より多い (11.3%)	面積が多い (6.5%)	その他 (2.0%)
80歳以上 (n=95)	利用が少ない (52.6%)	影響が少ない (46.3%)	特定の人利用 (31.6%)	コストが高い (25.3%)	民間施設あり (23.2%)	全施設を対象 (18.9%)	他市より多い (14.7%)	面積が多い (5.3%)	その他 (3.2%)

③地区別集計

全ての地区で順位は同様で、「利用者が少ない、稼働率が低い施設を減らす」が最も多かった。

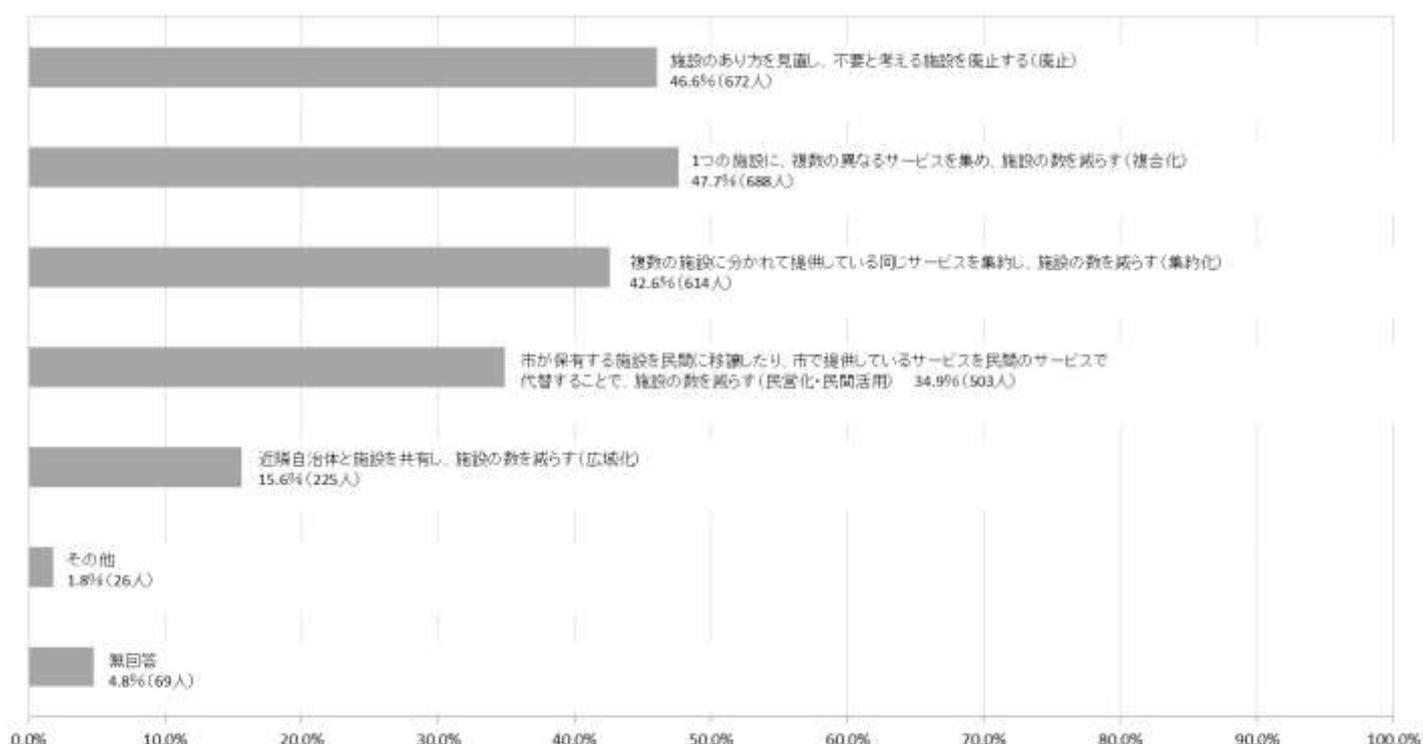
	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位
明石東部 (n=398)	利用が少ない (67.3%)	影響が少ない (57.8%)	特定の人利用 (34.2%)	民間施設あり (28.1%)	コストが高い (22.9%)	全施設を対象 (19.1%)	他市より多い (10.8%)	面積が多い (5.0%)	その他 (1.3%)
西明石 (n=295)	利用が少ない (67.1%)	影響が少ない (53.9%)	特定の人利用 (38.0%)	民間施設あり (27.5%)	コストが高い (23.4%)	全施設を対象 (17.6%)	他市より多い (10.8%)	面積が多い (5.8%)	その他 (1.4%)
大久保 (n=382)	利用が少ない (62.3%)	影響が少ない (55.8%)	特定の人利用 (34.6%)	民間施設あり (24.6%)	コストが高い (21.7%)	全施設を対象 (18.8%)	他市より多い (8.9%)	面積が多い (4.7%)	その他 (1.8%)
魚住 (n=223)	利用が少ない (68.6%)	影響が少ない (57.0%)	特定の人利用 (29.6%)	民間施設あり (22.9%)	コストが高い (22.4%)	全施設を対象 (20.2%)	他市より多い (7.2%)	面積が多い (4.5%)	その他 (2.7%)
二見 (n=130)	利用が少ない (70.0%)	影響が少ない (51.5%)	特定の人利用 (40.8%)	民間施設あり (24.6%)	コストが高い (23.1%)	全施設を対象 (21.5%)	他市より多い (10.0%)	面積が多い (5.4%)	その他 (1.5%)

各項目の集計結果

(14) 公共施設を減らすために、あなたはどのような手法で取り組むべきだと思いますか。(複数回答可)

①全体集計

「1つの施設に、複数の異なるサービスを集め、施設の数減らす(複合化)」が最も多く47.7%であり、次いで、「施設のあり方を見直し、不要と考える施設を廃止する(廃止)」が46.6%であった。



※割合は、項目ごとの回答者数÷総回答者数(N=1,443)で表しており、複数回答のため合計は100%にならない。

②年齢別集計

20歳代から50歳代では「1つの施設に、複数の異なるサービスを集め、施設の数減らす(複合化)」が最も多く、10歳代及び60歳代から80歳以上では「施設のあり方を見直し、不要と考える施設を廃止する(廃止)」が最も多かった。

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
10歳代 (n=27)	廃止 (48.1%)	複合化 (44.4%)	集約化 (40.7%)	民営化・民間活用 (29.6%)	広域化 (11.1%)	その他 (3.7%)
20歳代 (n=96)	複合化 (59.4%)	集約化 (44.8%)	廃止 (39.6%)	民営化・民間活用 (21.9%)	広域化 (12.5%)	その他 (1.0%)
30歳代 (n=194)	複合化 (60.8%)	集約化 (49.0%)	廃止 (40.7%)	民営化・民間活用 (36.6%)	広域化 (14.9%)	その他 (2.1%)
40歳代 (n=231)	複合化 (51.9%)	廃止 (47.2%)	集約化 (43.3%)	民営化・民間活用 (36.4%)	広域化 (16.0%)	その他 (0.9%)
50歳代 (n=214)	複合化 (54.2%)	廃止 (49.5%)	集約化 (44.9%)	民営化・民間活用 (38.3%)	広域化 (18.2%)	その他 (2.3%)
60歳代 (n=333)	廃止 (47.7%)	複合化 (47.4%)	集約化 (41.4%)	民営化・民間活用 (36.6%)	広域化 (18.3%)	その他 (1.2%)
70歳代 (n=248)	廃止 (48.8%)	集約化 (37.5%)	民営化・民間活用 (34.7%)	複合化 (31.9%)	広域化 (13.3%)	その他 (1.6%)
80歳以上 (n=95)	廃止 (45.3%)	集約化 (40.0%)	民営化・民間活用 (29.5%)	複合化 (28.4%)	広域化 (11.6%)	その他 (5.3%)

各項目の集計結果

③地区別集計

明石東部・大久保・魚住では「1つの施設に、複数の異なるサービスを集め、施設の数減らす（複合化）」が最も多かった。西明石・二見では「施設のあり方を見直し、不要と考える施設を廃止する（廃止）」が最も多かった。3位以降は、いずれの地区も同様の結果となった。

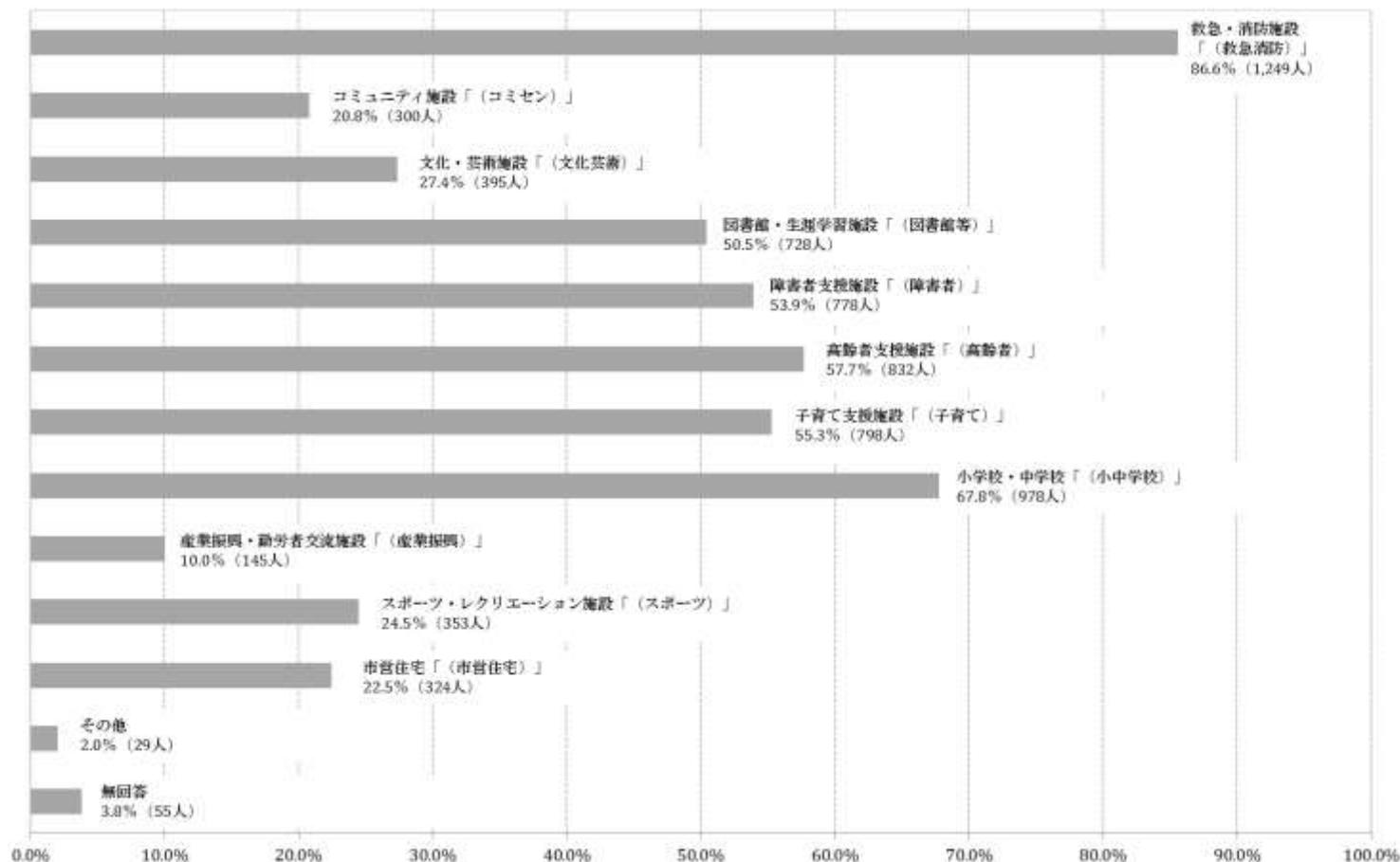
	1位	2位	3位	4位	5位	6位
明石東部 (n=398)	複合化 (49.0%)	廃止 (46.0%)	集約化 (45.5%)	民営化・民間活用 (36.7%)	広域化 (16.8%)	その他 (2.3%)
西明石 (n=295)	廃止 (47.8%)	複合化 (44.4%)	集約化 (39.7%)	民営化・民間活用 (36.6%)	広域化 (14.6%)	その他 (1.4%)
大久保 (n=382)	複合化 (47.1%)	廃止 (46.1%)	集約化 (40.6%)	民営化・民間活用 (34.6%)	広域化 (15.4%)	その他 (1.0%)
魚住 (n=223)	複合化 (51.1%)	廃止 (45.7%)	集約化 (43.0%)	民営化・民間活用 (30.0%)	広域化 (14.3%)	その他 (2.7%)
二見 (n=130)	廃止 (48.5%)	複合化 (47.7%)	集約化 (47.7%)	民営化・民間活用 (34.6%)	広域化 (16.2%)	その他 (1.5%)

各項目の集計結果

(15) 今後も引き続き市が保有すべき公共施設は、どのような公共施設だと考えますか。(複数回答可)

①全体集計

「救急・消防施設」が最も多く86.6%であり、次いで「小学校・中学校」で67.8%であった。



※割合は、項目ごとの回答者数÷総回答者数 (N=1,443) で表しており、複数回答のため合計は100%にならない。

各項目の集計結果

②年齢別集計

「救急・消防施設」がどの年代においても最も多かった。10歳代及び30歳代から60歳代までは「小学校・中学校」が2番目に多かった。20歳代は「子育て施設」、70歳代から80歳以上は「高齢者支援施設」が2番目に多かった。

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位	12位
10歳代 n=27	救急消防 85.2%	小中学校 85.2%	図書館等 70.4%	障害者 70.4%	高齢者 66.7%	子育て 66.7%	文化芸術 40.7%	スポーツ 29.6%	市営住宅 25.9%	コミセン 18.5%	産業振興 18.5%	その他 0.0%
20歳代 n=96	救急消防 85.4%	子育て 69.8%	小中学校 68.8%	図書館等 61.5%	障害者 61.5%	高齢者 59.4%	スポーツ 28.1%	文化芸術 26.0%	市営住宅 20.8%	コミセン 13.5%	産業振興 12.5%	その他 0.0%
30歳代 n=194	救急消防 89.7%	小中学校 84.0%	図書館等 69.1%	子育て 69.1%	障害者 55.7%	高齢者 52.1%	スポーツ 32.0%	コミセン 30.9%	文化芸術 30.9%	市営住宅 25.3%	産業振興 13.9%	その他 3.6%
40歳代 n=231	救急消防 90.5%	小中学校 74.9%	高齢者 57.1%	子育て 55.8%	障害者 55.4%	図書館等 51.1%	文化芸術 29.0%	スポーツ 24.7%	コミセン 21.2%	市営住宅 17.3%	産業振興 7.8%	その他 2.2%
50歳代 n=214	救急消防 91.1%	小中学校 71.0%	高齢者 59.8%	障害者 57.0%	子育て 54.7%	図書館等 53.7%	文化芸術 32.2%	市営住宅 30.8%	スポーツ 26.6%	コミセン 19.6%	産業振興 10.3%	その他 1.9%
60歳代 n=333	救急消防 85.6%	小中学校 66.7%	高齢者 58.6%	障害者 56.5%	子育て 53.2%	図書館等 47.4%	文化芸術 27.3%	スポーツ 23.1%	市営住宅 22.2%	コミセン 21.3%	産業振興 9.9%	その他 1.2%
70歳代 n=248	救急消防 82.7%	高齢者 59.7%	小中学校 53.6%	子育て 46.8%	障害者 46.4%	図書館等 36.7%	市営住宅 21.8%	スポーツ 20.2%	文化芸術 18.5%	コミセン 17.3%	産業振興 6.5%	その他 2.8%
80歳以上 n=95	救急消防 75.8%	高齢者 51.6%	小中学校 46.3%	子育て 38.9%	障害者 36.8%	図書館等 32.6%	文化芸術 25.3%	コミセン 16.8%	スポーツ 14.7%	市営住宅 13.7%	産業振興 10.5%	その他 2.1%

③地区別集計

いずれの地区も1位と2位は、それぞれ「救急・消防施設」、「小学校・中学校」であった。また、11位と12位は全ての地区において、それぞれ「産業振興・勤労者交流施設」、「その他」であった。

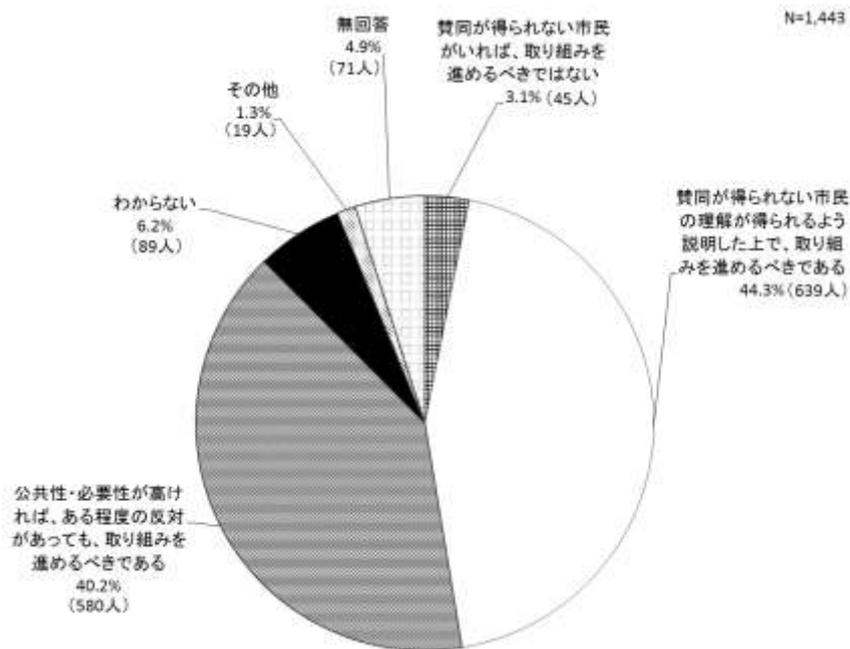
	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位	12位
明石東部 n=398	救急消防 87.2%	小中学校 66.6%	高齢者 56.8%	子育て 56.3%	図書館等 54.8%	障害者 54.5%	文化芸術 34.9%	スポーツ 26.1%	コミセン 22.6%	市営住宅 20.9%	産業振興 10.1%	その他 1.0%
西明石 n=295	救急消防 86.8%	小中学校 67.5%	高齢者 61.0%	障害者 54.9%	子育て 54.9%	図書館等 49.8%	文化芸術 24.7%	市営住宅 24.4%	スポーツ 20.0%	コミセン 17.6%	産業振興 8.8%	その他 3.1%
大久保 n=382	救急消防 84.3%	小中学校 69.9%	障害者 55.8%	子育て 55.5%	高齢者 54.5%	図書館等 45.0%	文化芸術 24.1%	スポーツ 23.3%	コミセン 21.5%	市営住宅 20.2%	産業振興 9.7%	その他 2.4%
魚住 n=223	救急消防 87.9%	小中学校 67.7%	高齢者 59.6%	図書館等 55.2%	子育て 54.7%	障害者 52.9%	スポーツ 28.3%	市営住宅 26.5%	文化芸術 25.6%	コミセン 21.1%	産業振興 11.2%	その他 1.3%
二見 n=130	救急消防 90.0%	小中学校 70.0%	高齢者 60.0%	子育て 56.9%	図書館等 48.5%	障害者 47.7%	スポーツ 26.2%	市営住宅 23.8%	文化芸術 21.5%	コミセン 20.0%	産業振興 10.8%	その他 3.1%

各項目の集計結果

(16) 公共施設配置の適正化の取り組みは、すべての市民が満足する形で進めていくことが望ましいですが、個人の価値観やライフスタイルが多様化している中では困難です。賛同が得られない市民がいる場合、市はどのように対応するべきだと考えますか。

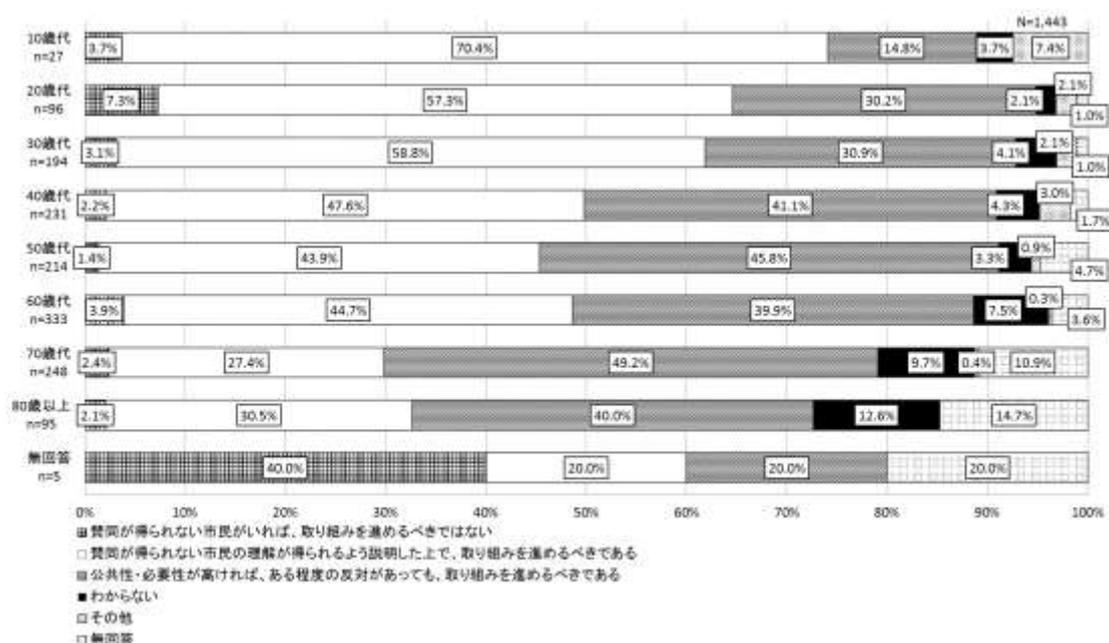
①全体集計

「賛同が得られない市民の理解が得られるよう説明した上で、取り組みを進めるべきである」が最も多く44.3%であり、次いで「公共性・必要性が高ければ、ある程度の反対があっても、取り組みを進めるべきである」で40.2%であった。



②年齢別集計

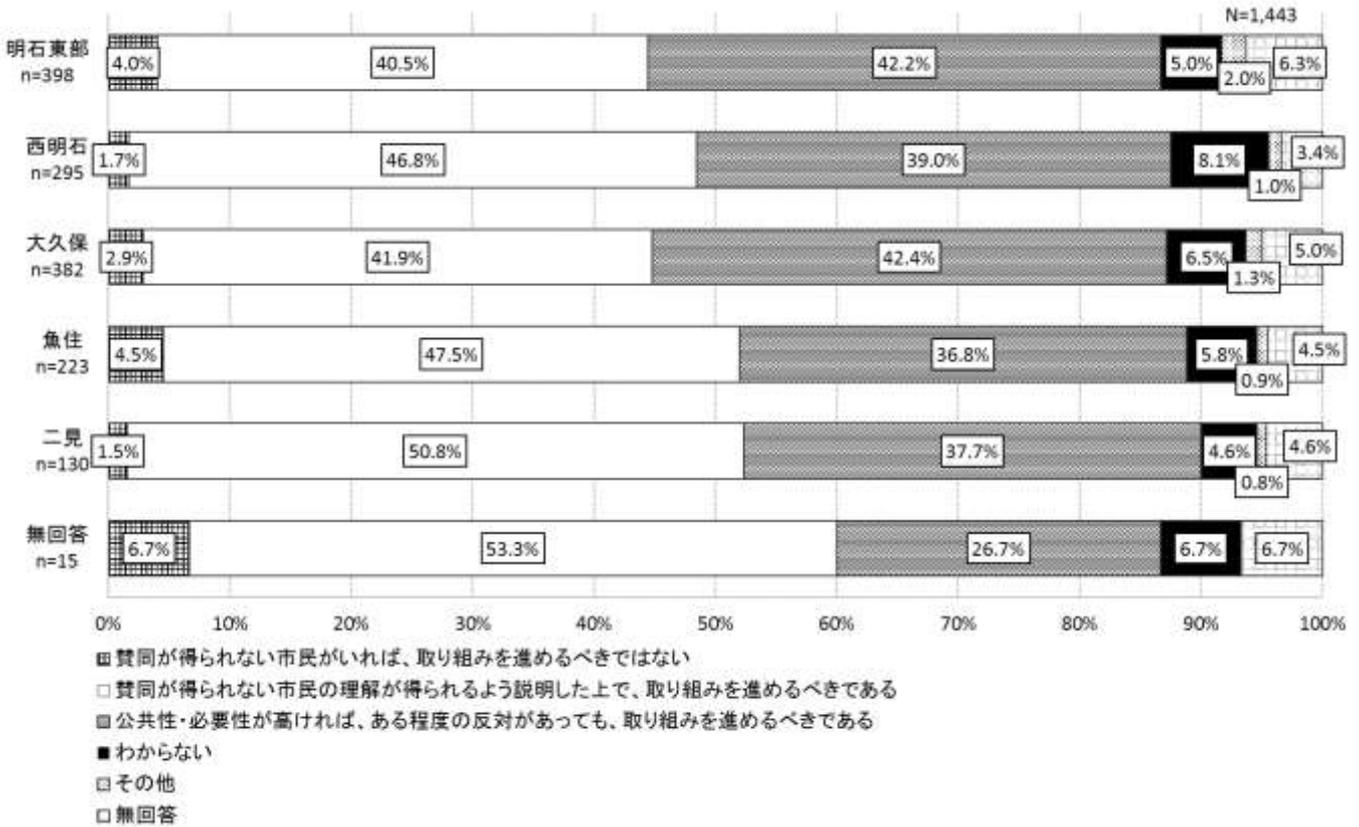
「賛同が得られない市民がいれば、取り組みを進めるべきではない」は20歳代で最も高くなった。「公共性・必要性が高ければ、ある程度の反対があっても、取り組みを進めるべきである」は70歳代で最も高くなった。



各項目の集計結果

③地区別集計

「賛同が得られない市民の理解が得られるよう説明した上で、取り組みを進めるべきである」は二見で最も多く50.8%であり、「公共性・必要性が高ければ、ある程度の反対があっても、取り組みを進めるべきである」は大久保で最も多く42.4%であった。



各項目の集計結果

(17) 公共施設全般について、ご意見がございましたら自由にご記入ください。

公共施設全般について自由記述でご意見を求めたところ、計317名からご意見をいただいた。その内容を分類したところ、主な意見はそれぞれ下記のとおりである。

(1) 基本的な取組方針に関する意見（39件）

利用者の少ない施設や類似している施設など、不要と考えられる公共施設は廃止し、費用を削減すべきという意見があった。また、利用者の少ない施設は廃止だけでなく、集約化や統合、縮小を進めていくべきとの意見がある一方で、利用者が少数でも利用されている施設は残すべきとの意見もあった。

(2) 取組の手法に関する意見（22件）

財政負担軽減のため、民間企業に公共施設の運営を任せるべきとの意見があった。その他、各施設が利益を生み出せるよう利用料を徴収するなど、最大限有効活用すべきとの意見や、その他、税金の無駄遣いをしないようにするべきとの意見があった。

(3) 取組にあたって考慮すべき点としての意見（106件）

施設の集約・複合化を行う場合などは、公共交通機関の充実を図るとともに、駅から近い場所などアクセスのよい所に各公共施設を配置して欲しいという意見があった。また、現状で施設が明石東部に偏っているという見方や、平等に分散させるべきとの意見もあった。その他、子育て世代から高齢者まで各世代のニーズを反映させた施設であるべきとの意見があった。

(4) 取組内容や施設情報の広報・周知に関する意見（44件）

各施設の場所が不明、また、どのような施設なのか不明なものが多く、名前自体初めて聞いたという意見があった。また、各施設がどのような取組を行っていて、その使用用途を広く市民に伝えるべきとの意見や施設マップやパンフレットを作してほしいという具体的な意見もあった。

(5) 各施設（分野）への要望（52件）

施設の老朽化が進んでいるため、改修を求める意見があった。また、本庁舎や夜間救急病院等、各施設へのアクセスが悪いため、施設の配置転換やバス等の公共交通機関の増便を求める声や、その他、駐車場利用の無料化を求める意見があった。

(6) 各施設（分野）の存廃に関する意見（26件）

類似施設や稼働率の低い施設は統合または廃止すべきとの意見があった。一方で、各人で使用している施設や必要な施設が異なり、それぞれの施設の廃止を拒む声も多く、また、施設を統合することでアクセスが悪くなり、利用が困難になる可能性があるという意見もあった。

(7) その他の意見（82件）

市役所等、各施設職員の態度を指摘する意見や施設を廃止する前提でのアンケート実施を問題視する意見があった。そもそも公共施設を利用する機会がないという意見や、ほとんど利用しないので回答できない、また、無駄と考えられるものは削減すべきとの意見、その他、明石の活性化を望む声もあった。